

肝炎の早期発見・早期治療の必要性を伝達

「知って、肝炎プロジェクト」特別参与 杉 良太郎氏が出身地 兵庫県を表敬訪問「肝炎はなってからでは遅いので、早めに検査に行つて。」と県民に訴え

世界では3億人以上が肝炎ウイルスに感染していると推計され、世界最大規模の感染症です。また、肝炎は放置すると健康に対し重大な損害をもたらす可能性があります。肝炎総合対策推進国民運動「知って、肝炎プロジェクト」は、2012年より、肝炎に関する知識、肝炎ウイルス検査の必要性を分かりやすく伝え、あらゆる国民が肝炎の正しい知識を持ち、早期発見・早期治療に向けて自ら積極的に行動していくことを目的として活動しております。

この度、厚生労働省 肝炎総合対策推進国民運動「知って、肝炎プロジェクト」は、特別参与 杉 良太郎氏が7月18日（水）に兵庫県を表敬訪問し肝炎に関する啓発活動を行いました。



当日は挨拶の後、杉特別参与、井戸 敏三 兵庫県知事、出席者と兵庫県の肝炎対策について懇談を行いました。杉特別参与の出身地が兵庫県神戸市ということもあり、「兵庫県は以前は非常に悪い状態だったが、今現在では検査の体制も整ってきているし、これ以上知事や市長に頼むことは無いというところまで来たのですが、今後もより一層力を入れていってほしいですね。」と兵庫県の肝炎対策について熱のこもったお話をされました。井戸知事は、「杉さんには、お忙しい中来ていただいて大変感激しているのですが、感激するだけではダメですから、今後も早期発見、早期治療を掲げて、自分自ら診断を受けるところから更に力をいれていきたい。」と、県内の肝炎対策に対する思いを述べるとともに、さらなる啓発活動を進めていくと宣言いたしました。

最後に杉特別参与から、「（肝炎啓発に対して）これだけ色々な人が発信して行ってくれてますが、中々重要性を解ってもらえず、行動に移してもらおうこと、治療を受けてもらうことは難しいですね。ただここで負けるわけにはいけないので、どんどん発信していければと思います。皆さん是非治療を受けてください。よろしく願います。」と県民へメッセージを送りました。

今後も当プロジェクトでは、肝炎の知識や検査の必要性を知ってもらうことを目指し、啓発活動を行ってまいります。

「知って、肝炎プロジェクト」 兵庫県表敬訪問 概要

厚生労働省では、肝炎総合対策推進国民運動「知って、肝炎プロジェクト」を立ち上げ、杉良太郎氏を同運動の特別参与に任命し、芸能界・スポーツ界から大使・スペシャルサポーターを任命して、肝炎対策の普及啓発を行っております。

このたび、「知って、肝炎プロジェクト」の特別参与杉良太郎氏が井戸敏三兵庫県知事を訪問し、「知って、肝炎プロジェクト」推進のメッセージ伝達を行いました。

■日時

2018年7月18日（水） 14:00～14:20

■開催場所

兵庫県庁 第2号館 6階 知事応接室

■出席者

兵庫県 知事 井戸 敏三 氏

厚生労働省 肝炎総合対策推進国民運動 特別参与 杉 良太郎 氏

厚生労働省 肝炎対策推進室 室長 小野 俊樹 氏

厚生労働省 肝炎対策推進室 室長補佐 桑代 卓也 氏

兵庫県医師会 会長 空地 顕一 氏

兵庫医科大学病院 肝疾患センター センター長 西口 修平氏

肝炎友の会兵庫支部 会長 山本 宗男 氏

【表敬訪問/懇談レポート】

懇談中、杉特別参与は、「病気になった人は治療は受けるが、事前に受ける人は少ないです。病気になってからでは遅いということをもっと兵庫県民の皆さんにも知っていただきたい。」と呼びかけました。それを受け、井戸知事は「兵庫は様々な人に協力いただいた結果、以前より著しく患者数も減り、良い状態になってきました。今後もこの調子で皆さんに訴えていければと思います。」と答え、かたい握手を交わしました。また、杉特別参与が兵庫県出身ということもあり「関西の人間は、『まあええやん』とよく言うがそういう心持が肝炎治療には良くないですね。」とお話されるなど、終始和やかな雰囲気でした。



「知って、肝炎プロジェクト」とは



このキャンペーンは、平成23年5月16日に策定された肝炎対策基本指針を受け、厚生労働省の肝炎対策助成金事業として開始されました。平成25年度より、肝炎に関する知識や肝炎ウイルス検査の必要性を分かりやすく伝え、あらゆる国民が肝炎への正しい知識を持ち、早期発見・早期治療に向けて自ら積極的に行動していくこと目的とした「肝炎総合対策推進国民運動事業」として啓発活動を致しております。

肝炎とは何か、そしてどのように感染するのか、放置するとどうなるのか、そして様々な予防方法と治療法を知ってもらうことを目指します。肝炎は放置すると肝硬変・肝がんという重篤な疾患に進行する可能性があります。世界保健機関（WHO）は、2010年に世界的レベルでのウイルス性肝炎のまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消や感染予防の推進を図ることを目的として、7月28日を"World Hepatitis Day"(世界肝炎デー)と定め、肝炎に関する啓発活動等の実施を提唱しました。

日本でもこれに呼応した取組として、7月28日を日本肝炎デーと定め、国及び地方公共団体、医療団体や事業主団体等の協力を経て、肝炎の病態や知識、予防、治療に関わる正しい理解が進むよう普及啓発を行うとともに、受検勧奨を推進致します。

また、厚生労働省 肝炎総合対策推進国民運動 特別参与 杉良太郎氏をはじめとする、芸能界・スポーツ界から大使・スペシャルサポーターの方々に肝炎ウイルス検査の普及啓発などを目的とした広報活動をお手伝い頂いています。

